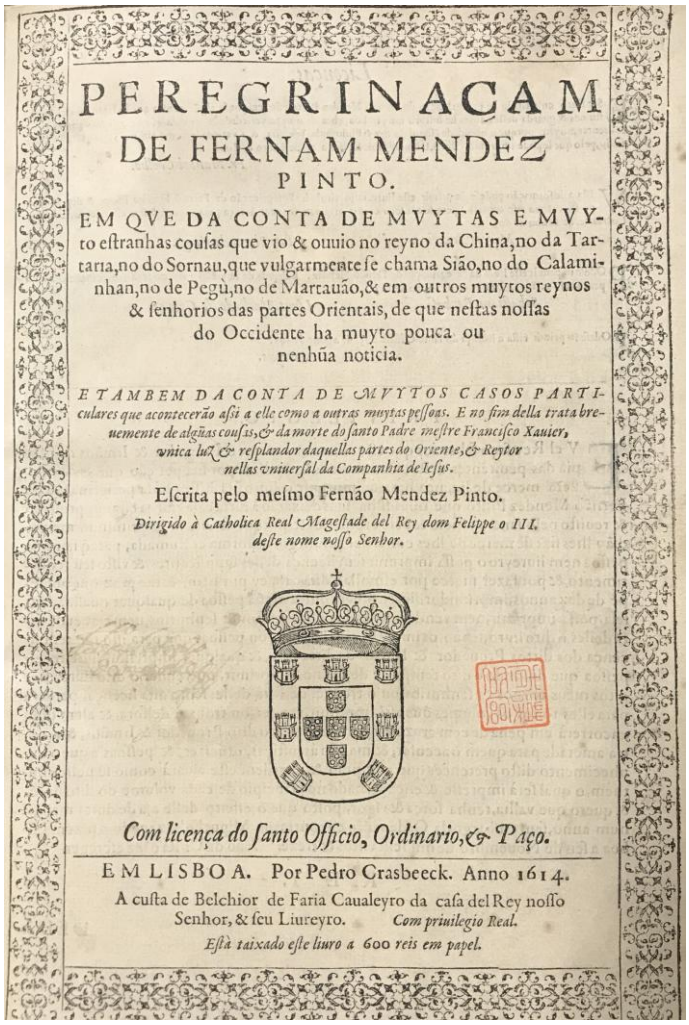
令和7年度東京大学アジア研究図書館展示

キリスト教とアジア世界

-高瀬弘一郎コレクションからみる-

フェルナン・メンデス・ピント著『東洋遍歴記』(1614年初刊本)



PEREGRINAÇAM
DE FERNAM MENDEZ
PINTO.

EM QVE DA CONTA DE MVYTAS E MVYto estranhas cousas que vio & ouuio no reyno da China, no da Tartaria, no do Sornau, que vulgarmente se chama Sião, no do Calaminhan, no de Pegù, no de Martauão, & em outros muytos reynos & senhorios das partes Orientais, de que nestas nossas do Occidente ha muyto pouca ou nenhũa noticia.

ETAMBEM DA CONTA DE MVYTOS CASOS PARTIculares que acontecerão assi a elle como a outras muytas pessoas. E no fim della trata breuemente de algũas cousas, & da morte do santo Padre mestre Francisco Xauier, vnica luz & resplandor daquellas partes do Oriente, & Reytor nellas vniuersal da Companhia de Iesus.

Escrita pelo mesmo Fernão Mendez Pinto.

Dirigido à Catholica Real Magestade del Rey dom Felippe o III. deste nome nosso Senhor.

Com licença do santo Officio, Ordinario, & Paço.

EM LISBOA. Por Pedro Crasbeeck. Anno 1614.

A custa de Belchior de Faria Caualeyro da casa del Rey nosso Senhor, & seu Liureyro. *Com priuilegio Real.*

Està taixado este liuro a 600 reis em papel.

東京大学アジア研究図書館所蔵

【記念講演】**参加無料（要事前申込･定員有）**

日時：令和7年12月11日（木）13:00～15:00

場所：東京大学総合図書館別館 ライブラリープラザ

講師：岡美穂子（東京大学史料編纂所准教授）

「大航海時代と日本」

主催：東京大学アジア研究図書館研究開発部門 (RASARL)

どなたでもお申し込みいただけます

https://forms.gle/8rSmhDcmM5XHNmqGA

【記念展示】**予約不要･入場無料**

会期：令和7年11月28日（金）～12月26日（金）

※休館日：12月18日（木）

会場：東京大学総合図書館

１階展示スペース

https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/access

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

アジア研究図書館 Asian Research Library

近世日欧交渉史およびキリシタン史研究の第一人者である高瀬弘一郎氏は、慶應義塾大学に提出した博士論文「キリシタン時代の研究　とくに教会の政治的、経済的活動を中心に」により文学博士号を取得後、同大学に長らく奉職されました（現・名誉教授）。従来のキリシタン史研究が主に宗教的側面を重視していたのに対し、氏はキリスト教宣教の政治的・経済的基盤を明らかにしてスペイン・ポルトガルの国家政策との密接な関わりを浮き彫りにするなど、キリシタン布教活動の多角的分析によって画期的な業績を積み上げてこられました。日本学士院賞を受賞した『キリシタン時代の研究』（1977年）、『キリシタンの世紀　ザビエル渡日から「鎖国」まで』（1993年）等を精力的に発表し、キリシタン史研究の新たな地平を開拓しつづけるとともに、イエズス会報告書やモンスーン文書等の翻訳・翻刻を通じて、研究基盤の整備にも大きく貢献してこられました。これらの業績は、キリシタン史を大航海時代のグローバルな視点からとらえなおし、国際的にも大きな価値を有するものです。高瀬氏はまた、教育者としても多数の門下を育成し、2022年には文化功労者に選定されました。

東京大学アジア研究図書館は、岡美穂子氏（史料編纂所准教授）の力添えにより、2021年度に高瀬氏の蔵書を多数受贈しました。洋書を中心とするこれらの蔵書は、5年にわたる整理作業を経て、このたび「高瀬コレクション」として完成いたしました。これを記念して、当館では11月28日より、展示会「キリスト教とアジア世界――高瀬弘一郎コレクションからみる――」を開催いたします。高瀬コレクションのなかでも、日本以外のアジア諸地域と関係の深い資料を中心として展示をおこない、17世紀に刊行された貴重書の原本も公開いたします。ぜひ会場でごらんください（ご所属を問わず、予約不要・入場無料です）。

また、会期中には、高瀬氏の専門と近接する南蛮貿易・南蛮文化等の研究分野で活躍する研究者、岡氏による講演会「大航海時代と日本」を開催いたします。事前お申し込みの上、奮ってご参加ください。

東京大学附属図書館アジア研究図書館研究開発部門
(RASARL)

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO　アジア研究図書館 Asian Research Library

令和7年度東京大学アジア研究図書館展示

キリスト教とアジア世界

-高瀬弘一郎コレクションからみる-

左：ボン・ジェズ教会（ゴア）　右：聖パウロ学院（ゴア）
いずれも岡美穂子氏提供